

動物版フードドライブ開催

ホームメックス、官民連携で支援

【三河】環境事業や公共施設運営を手掛けるホームメックス（本社豊田市）は9日、不要になったペットフードやペット用品を回収し動物愛護団体へ無償提供する「動物版フードドライブ」を同社が管理する文化施設「カネヨシプレイス」（みよし市）で開催した。ホームメックス、みよし市、動物版フードバンク「Terminal」（ターミナル）による取り組みで、官民連携で動物愛護団体を支援する事業は全国でも珍しい。

同施設の入り口近くにテントを設置し、家庭で眠っているペット用品を受け付けたところ、開始早々からペットフードやペットシートを抱えた市民が次々と訪れた。ペットフードを寄付した男性は「飼い犬の好みが変わり新品のままで余ってしまった。他の犬に食べてもらえたら」と話し、愛猫家の女性は「ペットが亡くなりペットシートが不要になった。本来なら捨てていたものを有効に使ってもらえる良い取り組みだ」と語った。イベント終了後も同施設で常時寄付を受け付ける。

ホームメックスは将来の方向性を示すビジョンの重要テーマの一つに動物愛護を掲げる。今回、集めたペット用品はターミナルを通じて動物愛護団体に提供する。動物の殺処分減少、廃棄物削減、二酸化炭素排出量の削減につながる活動により、人と動物が幸せに共存する社会を目指す。



家庭で眠っているペット用品を受け付けた

2025年9月10日 中部経済新聞